



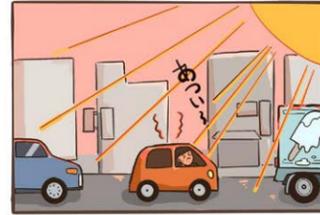
第31話 軽トラでゆく

いつもの車が修理中だったので、軽トラで出かけたところ、何う先々で「なんで軽トラなんですか?!」、「軽トラ議員だ!」、思いのほか反響がありました。大工をしていたので若い頃から日常的に使ってきましたが、街中で女性(しかも議員)が乗っていると、意外な凶に見えるかもしれませんね。大きな荷物や木材、草刈機などを運べるので、田舎ではお持ちの方も多く日常的に見かける車です。たまに県庁の議会棟に乗って行く時には、流石にちょっと場違いかな〜(^^;)と思ったりもしていますが、

まあマイペースで参ります。



いっぽ通信を軽トラで郵便局に運ぶのも私の担当。いっぽも読んで下さってありがとうございます。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの養育受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子と暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第31号]
発行:2024年7月(2024年6月議会報告)

最新情報を発信しています

- Facebook: みどり岡山 www.facebook.com/greenokayama
- 大塚愛 www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
- みどり岡山ホームページ: https://midori-okayama.org/

[事務所]
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
[自宅]
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808

大塚愛

県政レポート(2024年7月発行) [第31号]



ユリの花言葉: 純粋、無垢、威厳

いっぽ通信

P.02-03 DV被害者によりそう相談を

- P.01 暮らしの延長にある政治を、女性の立場からよくする
- P.02-03 おもな活動記録から「DV防止サポート/空き家対策」
- P.04 愛ちゃんがゆく! —県議体験記—/日々のうごき(2024年4月~7月)



みなさま、こんにちは。
今年の夏も早くから猛暑となり、熱中症対策など、健康に心がけて過ごしていきたいですね。
7月には、女性議員のおはなし会をしました。4人とも秘書などの政治経験はなく、普通に暮らしてきた中で、社会を変えたいと思う出来事があった、それぞれのきっかけで勇気を

出して議員に挑戦しました。
真庭が大好きで誇りに思っていたけれど、「女性議員数は全国ワースト7位」という新聞記事を見たことをきっかけに、これではいけないと動き出した真庭市議の黒川愛さん。年配の男性が多い議会に比べて、県内の女性議員のネットワークの会では話が合うことも多く励みになっていると。

特性のあるお子さんを育てる保護者の立場で、教育を変えたいと動き続けた先に、笠岡市議になったまなべ陽子さん。議員報酬増額に反



対する市民と共に活動し、減額が実現するなど、市民の声の代弁者として頑張ってお

鬼木のぞみさんは岡山市役所の管理職がほぼ男性一色だった時期から、女性を増やそうと女性議員の皆さんと働きかけ、市長の積極姿勢のなかで今は18.6%に。制度からこぼれる人をなくすために

後半のグループトークはとも活気にあふれていました

が、中には「女性だけでなく男性の人権も大事だ」というご意見もいただきました。LGBTQなどの多様性を考え、性別に関わらず課題をとらえていくことは大事だと思います。一方、日本のジェンダーギャップ指数は世界の中でまだまだ低く、G7の中では最下位です。特にポイントの低い政治分野を変えていくには、まだしばらく女性を意識した「押し活」を続けていく必要があるのではと感じています。



岡山県議会の女性議員は55人中12人となり、女性比率は全国4位に。女性が増えると、委員会などで発言がしやすく、居心地よさも変わりました。

日々のうごき

2024年4月~7月

- 4.6 御津産廃阻止の集会
- 4.7 笠岡市議選まなべ陽子出発式、吉備高原のびのび小・中学校入学式
- 4.9 たねをまもる会おかやま総会
- 4.10 生活介護のご相談
- 4.11 たけバベ@建部中学校、フラワーデモ@エキチカ広場
- 4.13 加茂川ホリデイフォレスト総会、パレスチナ映画上映会
- 4.14 吉田地区総会
- 4.15 たけバベおこしプロジェクト理事会
- 4.16 常任委員会(農林水産)
- 4.18 みどり岡山会議
- 4.19 報酬改定のお話@旭川荘、竹枝小学校PTA総会
- 4.20 障害福祉の相談会&交流会@パブリック友の会
- 4.21 橋本省吾さんを囲む会
- 4.24 脱原発結集@隆涼寺
- 4.26 常任委員会、岡山市移住定住支援協議会
- 4.27 建部駅清掃、手話講座
- 4.28 れんげ祭り@建部町吉田
- 4.29 農業と給食フェス
- 4.30 映画「戦雲」、報酬改定のお話@ありがとうファーム
- 5.2 参観日@後楽館中学、災害支援

- ネットワークおかやま
- 5.3 家族でキャンプ@吉備中央町
- 5.4 星島淑子開軒60周年記念演奏会@後楽園
- 5.7 学生インターン打ち合わせ、アスベスト対策のお話@岡山労安センター
- 5.10 ニッセイの森のお話@加茂川ホリデイフォレスト
- 5.11 カヌー全国大会@建部町、クールアクション@岡山駅西口、たんぼぼネットワーク、フラワーデモ
- 5.12 Vネット岡山総会、岡山市に公立夜間中学を求める市民の会総会
- 5.13 化学物質過敏症のご相談、生理用品配布のお話@県教委
- 5.15 臨時議会、中国電力との懇談、山本宗輔写真展、竹枝を思う会
- 5.16 地方自治法改正研修、パブリック友の会専門家会議
- 5.17 通信制高校のお話@県教委、立憲自治の会
- 5.18 岡山のエネルギーの未来を考える会総会
- 5.19 御津建部有機農業交流会、JDS岡山支部総会
- 5.20 子ども未来・愛ネットワーク総会、備前県民局事業説明会
- 5.21 常任委員会(環境文化保健子ども福祉)、県と芸備線の懇談@国労岡山、井口陽平さん・のりす@ESDカフェ
- 5.22 三徳園訪問、青少年問題協議会
- 5.23 日本語教育のお話@国際交流協会、県政市政おはなし会@高松公民館
- 5.24 特別委員会(教育再生・子ども応援)、県政市政おはなし会@足守公民館、ガザについて真実さん講演会
- 5.25 福武教育文化振興財団交流会、「介護ってエンタメだ」講演会

- 5.26 全国植樹祭、原田ケンスケ応援カフェ
- 5.27 御津産廃訴訟傍聴、たけバベ学習@建部中学校
- 5.28 常任委員会、DV防止サポートシステムをつなぐ会
- 5.29 御津高校マイブレイス視察
- 5.30 太極拳交流会@高梁、竹枝を思う会総会
- 5.31 常任委員会、おかやまNPOセンター総会
- 6.1 宇甘西ホテル祭り
- 6.2 前田徳南選手壮行式
- 6.4 特別委員会
- 6.5 みつカフェ@御津
- 6.6 橋本財団訪問、NPO子どもシェルターモモ総会
- 6.7 ガザ停戦スタンディング@岡山駅
- 6.8 「みどりと水の道」総会@伊島、操南高校外部有識者意見傍聴
- 6.10 移住見学ツアー打ち合わせ
- 6.11 6月議会開会
- 6.12 参観日@竹枝小
- 6.13 パラフェス@ありがとうファーム
- 6.14 代表質問、広域避難支援研修
- 6.15 旭川流域水質調査、VSCO総会
- 6.16 岡山県中学吹奏楽演奏会@倉敷
- 6.18 みどりの映画会「君の根は」
- 6.19 一般質問(最終日26日に登壇)、竹枝小学校150周年記念準備会
- 6.23 ぐるーん「リアルボイス」上映会、入管法勉強会@岡山華僑華人総会
- 6.27 特別委員会
- 6.28 常任委員会
- 6.29 岡山市戦没者慰霊式、子ども若者ケアラー支援センターもみの木総会
- 7.1 たけバベ学習@建部中
- 7.2 中山芳一さんPTA研修
- 7.3 6月議会閉会、総務学事課と懇談@ユニオンおかやま



5.25 参観日@後楽館中学、災害支援

6月議会で取り上げたことから

DV被害者によりそう相談を



県議会録画
中継はこちら
から



「いっぽ通信 Plus!」
動画はこちら
YouTube

ウィズセンターについて

Q. 県は今年4月に、これまでDV被害の相談を受けていたウィズセンターの位置づけを変えて、「配偶者暴力相談支援センター」の役目をなくしました。女性をめぐる課題が複雑化、多様化する中で、関連機関や民間支援団体がより連携して支援していくことが益々重要になっていますが、なぜこの時に配暴センターを減らし、ウィズセンターの支援業務を制限しようとするのでしょうか。

知事 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行にあわせて、DV被害や生活困窮など、複雑化する課題を抱える女性に対して、その中核を担う女性相談支援センター(以下、女相)を機能強化したのにあわせて、DV関連業務を子ども・福祉部に一元化したためである。

Q. もしも知事がDV被害者で、なかなか相



足を運びやすいウィズセンター(きらめきプラザ6階)では、一般相談の中でDV相談を継続しています

談できていない人だった場合、どちらが足を運びやすいですか? 「被害を受けていても、すぐに答えを出せずに悩んでいる方にとってはウィズセンターが適していた」という声も民間支援団体から聞いています。しっかりとした支援体制をもつ女相はもちろんのこと、入りやすい雰囲気だけれど深刻なDV相談にも対応できるウィズセンターがあったことで、助けられた方も多かったと思います。

知事 自分の状況にもよると思うが、ウィズセンターのように図書も置いてあるところの方が話しやすいと感じるかもしれないし、本当にひどい目にあって恐怖を抱えている人には、しっかり対応できる女相の方がいいと思うだろう。色々なタイプに応じて入りやすいところがあるというのは、言われる通り大事なことだろうと思う。どちらを訪ねてもきちんとした救済に繋がるように、これまで以上に、ウィズセンターと女相が緊密に連携を図り、DV被害者への切れ目のない支援に取り組んでいきたい。

災害時のアスベスト対策

Q. アスベスト、いわゆる石綿は、とても細かい



豪雨災害のあった真備でも、災害ゴミの中にアスベスト含有建材が散在しているのが確認されました

留し、数十年の期間を経て、肺がんや中皮腫などの病気を引き起こすことがあります。アスベストは2006年に原則使用禁止になりましたが、今ある建物にもさまざまな建材が使用されています。2022年以降は建築物の解体工事の際に、アスベスト含有建材の調査などが義務付けられていますが、地震や洪水で壊れた建物を住民やボランティアが解体作業をする際にはこの規制が及びません。西日本豪雨災害の際には、災害ゴミの置き場にアスベスト含有建材が散在していたことが確認されています。また石綿健康被害に認定された方の中には、阪神淡路大震災のボランティア経験者もいたことが明らかになっています。

被災地の復旧作業において、ボランティアや被災者をアスベストの曝露から守るための

対策が必要と考えますが、一般やボランティア向けにアスベスト対策を伝える啓発として、より分かりやすいチラシを作って、防災研修などで取り扱ってはいかがでしょうか。

環境文化部長 現在のチラシをより分かりやすく改善し、市町村への防災研修などを通じて広く周知していきたい。

Q. アスベストの吸引を防ぐことのできるN95のマスクの準備について、災害ボランティアセンターなどで提供できるよう、県での備蓄や市町村への働きを行ってはどうですか。

環境文化部長 ボランティア用の備蓄はないが、他の用途で備蓄している防塵マスクの災害時の活用を検討するとともに、市町村へ備蓄を働きかけていきたい。



窯業系サイディング 屋根用化粧スレート



せつこうボード ビニル床シート

アスベスト含有建材が散在しているのが確認されました。出典：国土交通省『目で見えるアスベスト建材(第2版)』

南海トラフ地震の広域支援

市町村の連携体制

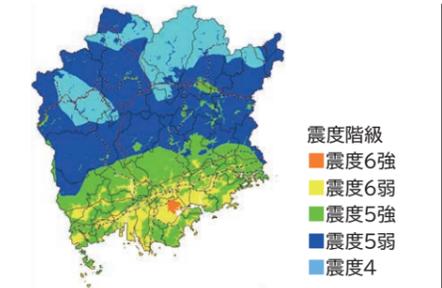
Q. 南海トラフ地震の被害は主に県南部で想定されるため、県内の南北に位置する市町村間で支援や連携ができる体制をつくり、支援のための社会資源(備蓄物資や住宅等)を確認しておくことで、円滑な応援ができると思いますが、いかがですか。

危機管理監 大規模災害が起きた際の応援協定を締結し、その実効性を高めるための方策を検討する協議会を設置している。南海トラフ地震の際に、南北の市町村連携は有効と考えて、協議会で議論を進めている。

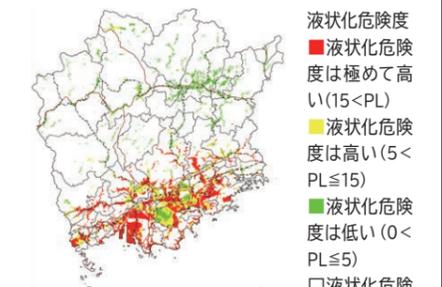
Q. 南海トラフ地震の際には、発災から1か月後の県内の避難者数を11万6000人としていますが、国内の多くの都道府県が被災するので、建設型の仮設住宅の建設は限定的になると思います。仮設住宅が必要な被災者に対して、県内でみなし仮設住宅として使用できる住戸のストックはどのくらいありますか。

土木部長 約6万5000戸の空き住戸があることを把握している。

Q. 過去の災害では、被災者それぞれの事情から市町村や県を超えて避難した方もい



南海トラフ巨大地震による震度分布図(岡山県想定)



南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図(岡山県)

ました。応急的な住居確保が円滑に行えるよう、市町村を超えた取り決めが事前でできればと考えますが、いかがですか。

土木部長 西日本豪雨災害の際には、みなし仮設住宅として希望する地域への申し込みを可能としたところ、県内16市町の民間賃貸住宅へ入居された。被災された方々が、みなし仮設住宅として希望する住戸に円滑に入居できるよう、必要な対応を検討していきたい。

DV防止サポートシステムをつなぐ会・岡山

@きらめきプラザ(5月28日、6月27日)

県内のいろんな市町村、いろんな政党の女性議員が20名以上参加している会で、DV被害に携わる支援者の方たちと、定例会や学習会を毎月しています。子育てやDVについて「うちの市ではこうだよ」と情報交換をしたり、DVと児童虐待

の関連性を重視するよう行政に意見書を届けたり、国の動向を勉強したり、市役所でDV啓発パネル展をしたり。もう20年以上続いている会ですが、いろいろ勉強でき励みになります。この1年は副代表になったので積極的に動くことが多かったですが、これからも女性の視点や繋がりをいかして活動していきたいと思っています。

毎月きらめきプラザで集まり、女性や子どもの目線で、県内のさまざまな制度について話しあっています

おもな「活動記録」から



中学生と空き家問題を考える

@建部中学校(6月26日、7月1日)

中学生が地域でいろんな活動をしている大人の話聞き、そこから自分で選んだテーマについて半年かけて探究するという授業があります。初めのトーク

企画に参加して、「たけべ家おこしプロジェクト」の活動を紹介したところ、10人の生徒が空き家対策を探究したいということになり、その後、中学生のインタビューを受けたり、空き家や移住者のお家と一緒に訪ねたりしました。大人たちが模索しながら取り組んできた地域課題に、中学生が前向きに関心を持ってくれたことはとても嬉しく、今後の生徒さん達の学習や実践を楽しみにしつつ、関わっていきたく

思います。



移住した方へのインタビュー。10月には御津と建部で移住下見ツアー(岡山市)も開催予定です。